

強い農業づくり交付金(産地競争力の強化)実施状況一覧

資料2-1

平成23年度繰越(25年度変更)

No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H29稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等	
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H29目標値 (C)	H29実績 (D)	目標達成 状況			評価
1	食品流通の合理化を目的とする取組(卸売市場再編促進整備)	23	秋田市	秋田市	秋田市	秋田市中央卸売市場(青果・水産部)屋根、舗装線画、管理棟3棟改修、	361,307	120,435	取扱量 78,076t	57,388t	73.5%	H29	施設の維持管理コストを14.2%以上削減	(H22) 54,728千円	(H29) 46,956千円	46,956千円	73,656千円	-243.5%	D	市場外流通の増加等の影響で、取扱量が年々減少していることに加え、施設の老朽化により修繕費がかかり増しとなり、市場の維持管理コストが増加している。	施設整備によって業務の効率化が図れたものの、開場後40年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいることから、修繕費が増加している。今後は、計画的な修繕を実施するとともに、料理教室や試食会等生鮮食品の需要拡大に取り組み、取扱量の増加を図る。
		25				秋田市中央卸売市場(青果・水産部)重量シャッター改良	16,073	5,357													
2	食品流通の合理化を目的とする取組(中央卸売市場整備)	23	秋田市	秋田市	秋田市	秋田市中央卸売市場(花き部)管理棟1棟改修	63,601	21,200	取扱量 33,961本	30,330本	89.3%	H29	施設の維持管理コストを14.2%以上削減	(H22) 8,995千円	(H29) 7,717千円	7,717千円	5,692千円	258.5%	A	市場外流通の増加等の影響で、取扱量は減少傾向にあるが、仲卸業者の独自整備による低温倉庫等の活用により、数量の維持・増加を図っている。市場の維持管理コストは目標数値を大幅に達成しており、事業効果発揮されている。	今後とも維持管理コストの削減に努める。
																	A	100%以上(目標達成)			
																	B	80~99%			
																	C	50~80%(改善指導対象)			
																	D	50%未満(改善指導対象)			

平成26年度繰越

No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H29稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等	
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H29目標値 (C)	H29実績 (D)	目標達成 状況			評価
1	産地競争力の強化(集荷施設整備)	26	大仙市	大曲	秋田おぼこ農業協同組合	野菜(枝豆)集出荷貯蔵施設整備	550,910	255,051	青果物集荷量 975t	624t	64.0%	H29	枝豆の販売額を14%以上増加	(H25) 312,459千円	(H29) 408,480千円	408,480千円	287,941千円	-25.5%	D	平成29年度は生産者数・作付面積も順調に増加していたが、大規模な水害の影響で多くの圃場が冠水してしまい、出荷量が大幅に減ってしまった。また、雪解けが遅かったことによる早生品種の播種時期が1月の繁殖期と重なったことによる食害の被害の影響も大きい。	事業実施後は、広域に分散していた出荷体制が一元化されたことで、荷受から出荷までの一元管理体制が整ったことで、集荷量は順調に推移していたが、29年度は大規模な水害により青果物全般が影響を受け、出荷量が激減した。しかし、生産者数、作付面積は順調に増加しているため、今後販売額は増加すると考えられる。
													枝豆販売額のうち契約取引が占める割合を20ポイント以上増加	(H25) 0.0%	(H29) 20.8%	20.8%	11.3%	54.3%	C	上記理由で出荷量が激減し、それにとまって契約数量も少なくせざるをえなかった。	
																	A	100%以上(目標達成)			
																	B	80~99%			
																	C	50~80%(改善指導対象)			
																	D	50%未満(改善指導対象)			

平成27年度																					
No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H29稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等	
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H29目標値 (C)	H29実績 (D)	目標達成 状況			評価
1	産地競争力の強化(生産技術高度化施設)	27	大館市	大館	株式会社パイテックファーム大館	野菜(レタス類) 高度環境制御栽培施設(完全人工光型植物工場)	1,152,604	533,613	野菜生産量	258t	98.9%	H29	野菜の販売額を14%以上増加	(H25) 182千円	(H29) 316,969千円	316,363千円	272,362千円	86.0%	B	大手コンビニ、地元スーパーの他、中食向け等の加工業務用を主に販売し、安定的に販売額が増加した。安定的なフル生産(日産1万株)を継続しており、目標生産量261トンに対して99%と概ね達成され販売額は増加したが、目標販売額には届かなかった。 大口契約取引先を複数社確保することで、契約取引の割合が増加した。小売向け、業務用向けと共にほぼ全量の買取(契約取引)が実現できた。	生産技術高度化施設(完全人工光型植物工場)の整備によって、季節や天候に左右されない周年栽培が可能となり、消費者の求める安心・安全・高品質で均一化されたレタス類を生産し、地元大館産として、また植物工場産野菜として市場評価の向上に繋がっている。 また、更なる品質安定化、作業標準化を徹底し、グローバルGAP認証取得に向けて準備を行った。 (認証取得:平成30年5月14日)
										261t				野菜の販売額のうち契約取引が占める割合を25ポイント以上増加	(H25) 0.0%	(H29) 25.2%	25.2%	98.0%	388.9%		

A	100%以上(目標達成)
B	80~99%
C	50~80%(改善指導対象)
D	50%未満(改善指導対象)

平成27年度(繰越)																				
No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H29稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H29目標値 (C)	H29実績 (D)	目標達成 状況		
1	産地競争力の強化(穀類乾燥調製貯蔵施設)	27	由利本荘市	矢島・鳥海地区	秋田しんせい農業協同組合	土地利用型作物(水稻) 穀類乾燥貯蔵施設	1,124,593	272,369	処理量(水稻)乾籾	2,853t	94.9%	H29	下位等級指数の削減について事業実施年度の前7中5の平均下位等級指数7.9%を3.9%に削減する	(H26) 7.9%	(H29) 3.9%	3.9%	24.1%	-405.0%	D	29年度は、斑点米被害粒の発生は抑制できたものの、低温、日照不足により青米割合が高まり、収量と品質が低下したことから、1等米比率が低下し、下位等級指数は24.1%と高くなった。 これまで課題となっていた斑点米カメムシ類の防除を徹底するとともに、気象変動に負けない稲づくりを推進するため、被育苗期間中の温度管理と良質な苗を育成するよう指導を強し、1等米比率を向上させる。
										3,006t				新規需要米の60kg当たりの物材費について直近の水稻全体の物材費7,286円に対して、17.7%減の5,996円に削減する	(H26) 7,286円	(H29) 5,996円	5,996円	5,145円	166.0%	

A	100%以上(目標達成)
B	80~99%
C	50~80%(改善指導対象)
D	50%未満(改善指導対象)